

只楽の旅・広島

第23回「再生塾・日本酒探訪会」は、参加者総勢14名（後藤、本田、樋口、森栗、山本、東、福永、池田、長坂、児玉(宜)、西窪、橋本、藤井、甲木）（名簿順、敬称略。）、ゲストに神田先生で、令和8年7月10日(金)～12日(日)に広島（竹原、西条、宮島）にて開催されました。

竹原の町並みと酒蔵



塩田で栄えた竹原の町並みは、どこか坂越(第21回で訪問)に似た雰囲気

探訪会第1日目は、皆さんそれぞれ楽しみながら、集合場所の竹原駅をめざして、昼ごはんの話題がLINEで大盛り上がり。

最初の訪問地は、藤井酒造の藤井酒造交流館、早速の試飲がはじまり、ほろ酔い気分で、次の竹鶴酒造を訪ねて、また一杯！

列車酒場となった“エトセトラ”

次は、観光列車 エトセトラに乗って、竹原駅から広島駅までの約2時間の旅。まずは、火照った体がビールを求めます。みんなで飲んだので「はっさくビール」は完売となりました。

神田先生を交えての勉強会

広島駅に到着後、今回のメインイベントである神田先生との交流会。路面電車のJR広島駅乗り入れをはじめとする広島駅周辺のまちづくりについてのご解説と現地調査で、まさに手に取るように交通環境が改善されたのが分かりました。

神田先生、お忙しい中、本当にありがとうございました。



駅ビル「minamoa」の上で、神田先生の開設を聞くメンバー。



JR改札口の2階まで上がってくる路面電車。



神田先生との交流会(勉強会)は、「瀬戸のさかなと牡蠣 魚燻広島店」にて開催。あまりの暑さにビールで乾杯。



藤井酒造交流館前での集合写真(例によって合成)。今回の探訪会も3日間快晴。水分摂取を忘れずに！



瀬戸内海を眺めながら、飲むビールは格別でした。列車の揺れが心地よく、竹原で買ったお酒も完飲。



酒都・西條・酒三昧

探訪会 2 日目は、午前中は自由行動。路面電車乗り鉄組、スイーツ購入組、大和ミュージアム組など、それぞれ楽しめたようです。

さて、午後からは、いよいよ酒都・西條のまち歩きです。

JR 西条駅から「まちあるきマップ」を片手に、賀茂鶴酒造を訪問&試飲。ここで、お得に楽しめる数量限定・期間限定の「ほろよい散歩クーポン」を購入して、気分も盛り上がります。



賀茂鶴酒造本社。この絵を描いて、皆さんとはぐれてしまいました(涙)
(筆者談)

道なりに、福美人酒造を経て、東端の賀茂泉酒造まで歩き一休み。帰り道に亀齢酒造、白牡丹酒造を見学、次々と酒蔵が現れ、まさに酒都と言えましょう。

夕方からは、お待ちかねの勉強会。今回は暑さも手伝いビール等で乾杯となりました。



森栗先生の独演会「宮島」

探訪会 3 日目は、安芸の宮島です。まちづくり支援を行っている森栗先生のご案内で、普通の観光とは違う「楽しく学べる宮島訪問」となりました。

「案内する方により見える景色も違う。」との感想に納得します。森栗先生も新たな発見があったようですね。



宮島口駅前の記念写真。撮影パネルからも 2 人顔を出していますよ。



江戸時代後期に僧・誓真が掘った井戸を解説する森栗先生と生徒たち



JR 西条駅での集合写真。バックは酒造りのレリーフ



賀茂泉酒造の酒泉館で、涼とお酒で休憩する皆さん



最初に訪問した酒蔵の賀茂鶴にて。もう出来上がったようなお二人



記念撮影用にしっかりと作ってあります



勉強会会場の「ちゃぶ台お座敷 しょう助」前の記念撮影
暑い日でしたが、容赦なく強い西日が皆さんの顔に・・・



厳島神社の大鳥居。主柱は近くで見ると、円形ではなく大木の形そのままでした。

やわらぎ水

西條の白牡丹酒造は、多くの文人墨客との交流がありました。

さて、白牡丹のために絵を寄贈したのは、次の画家のうち誰でしょうか。

- A. 富岡鉄斎
- B. 横山大観
- C. 棟方志功

次回の日本酒探訪会は…

例年ですと冬の開催かと思います。まだ、行先も時期も未検討ですので、「あの酒蔵に行ってみたい」「あの地域を訪ねてみたい」など、ご希望・ご提案がありましたら、事務局までお知らせください。